

山口市阿東地福地域における見守りサービスを活用した新たな拠点ネットワーク化に対する中間支援活動事業について

平成28年2月22日

山口市阿東地福地域拠点づくり協議会

1. 事業実施地域の課題

山口市阿東地福地区とは？

山口市の北東部に位置する阿東地福地域は平均標高300m前後の地域で夏場は涼しく、冬場は積雪のある山間部に位置している。

地福地域の人口は1311名(男性595人うち高齢者241人、女性716人うち高齢者416人)、世帯数は642世帯であり高齢化率は50.11%で少子高齢化や人口減少が進んでいる。



1. 事業実施地域の課題

◆ 地域のもつ課題

① 生活機能の確保

高齢化が進み、移動手段を持たない高齢者の増加により、地域内での買い物環境の整備が必要である。

② 農業人口の高齢化及び農業の低迷

米価の低迷や農家の高齢化等により、農家の所得低下や後継者不足が問題となっている。

③ 支えあいの仕組みづくり

少子・高齢化や人口減少により、従来の地域コミュニティ機能が低下している。地域での支えあいや高齢者の生きがいづくりを推進し、地域コミュニティ機能の活性化を図るため、交流の場＝地域内拠点としての機能が必要である。

2. 事業概要

(1) 事業の実施体制

① 体制メンバーと役割分担

構成主体	役割(中間支援の内容)
山口県央商工会阿東支所地福支部	企画助言、経営指導
山口市役所	地域住民との連携・事業の告知の支援
一般社団法人 ソーシャルデザイン協会	事務局、経営指導、助言
山口銀行	事業費の借入、会員への告知
山口中央農協阿東地福支所	地域住民との連携・事業の告知の支援

2. 事業概要

(1) 事業の実施体制

② 担い手の概要及び取組内容

担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取組む内容
NPO法人ほほえみの郷トイトイ	<ul style="list-style-type: none">・地域スーパー経営・移動販売事業・コミュニティスペースの提供各種地域課題解決活動	移動販売ルートを活用した 高齢者見守りサービス事業 高齢者及び家族のネットワーク化による取組みの充実



2. 事業概要

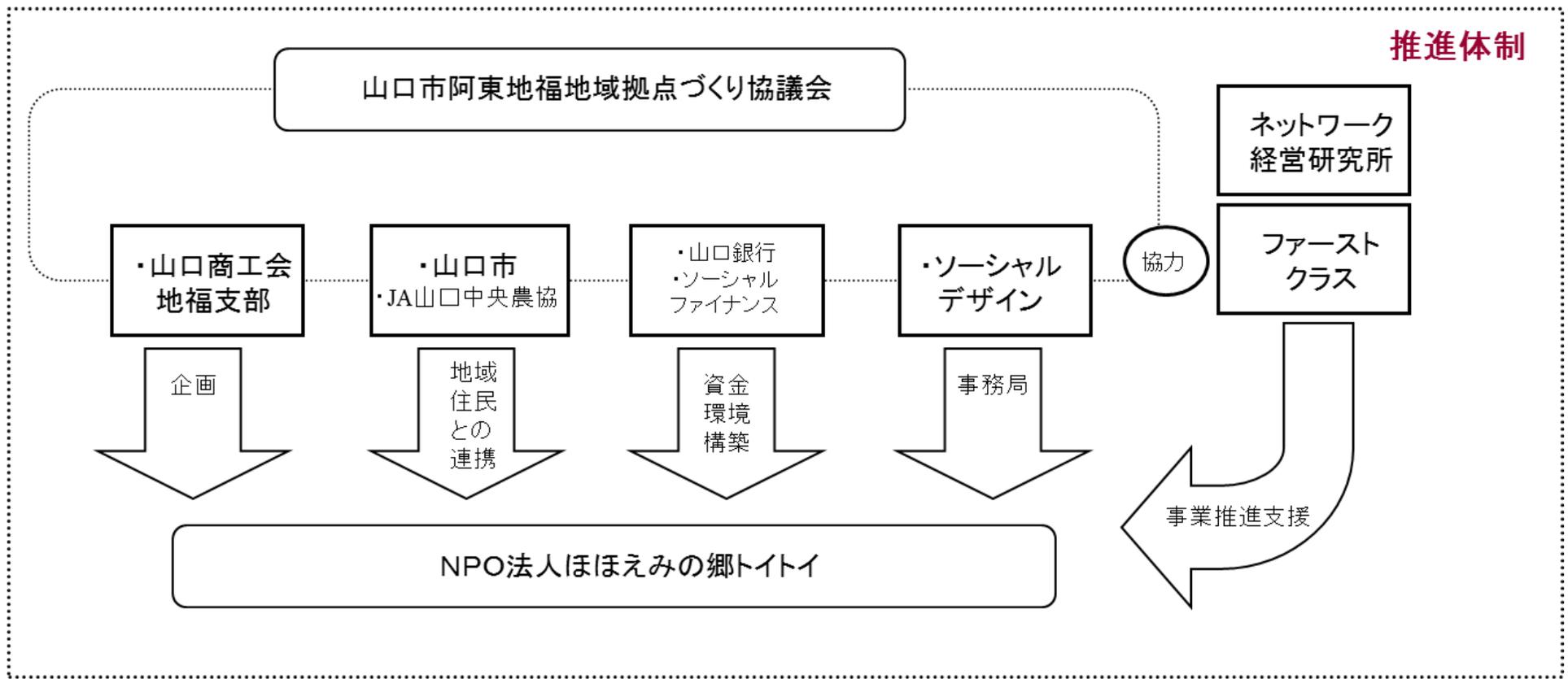
(1) 事業の実施体制

② 担い手の概要及び取組内容

<p>トイトイ工房</p> <p>地元の女性グループによる地元食材を使った惣菜や弁当の製造、仕出し</p>  <p>出入口</p>	<p>交流スペース</p> <p>友達や来店者との交流の場、各種講座や教室の開催、コミュニティカフェの開催など</p>  <p>出入口</p>	<p>ミニスーパー</p> <p>毎日の暮らしに欠かせない食料品や産直野菜などを販売する地域住民の生活店舗</p>  <p>出入口</p>
<p>既存トイレの改修</p>	<p>移動販売車 → 地福地域だけでなく、山口市阿東地域で日常の買い物が困難な高齢者等を対象とした食料品や日用品の販売</p>	

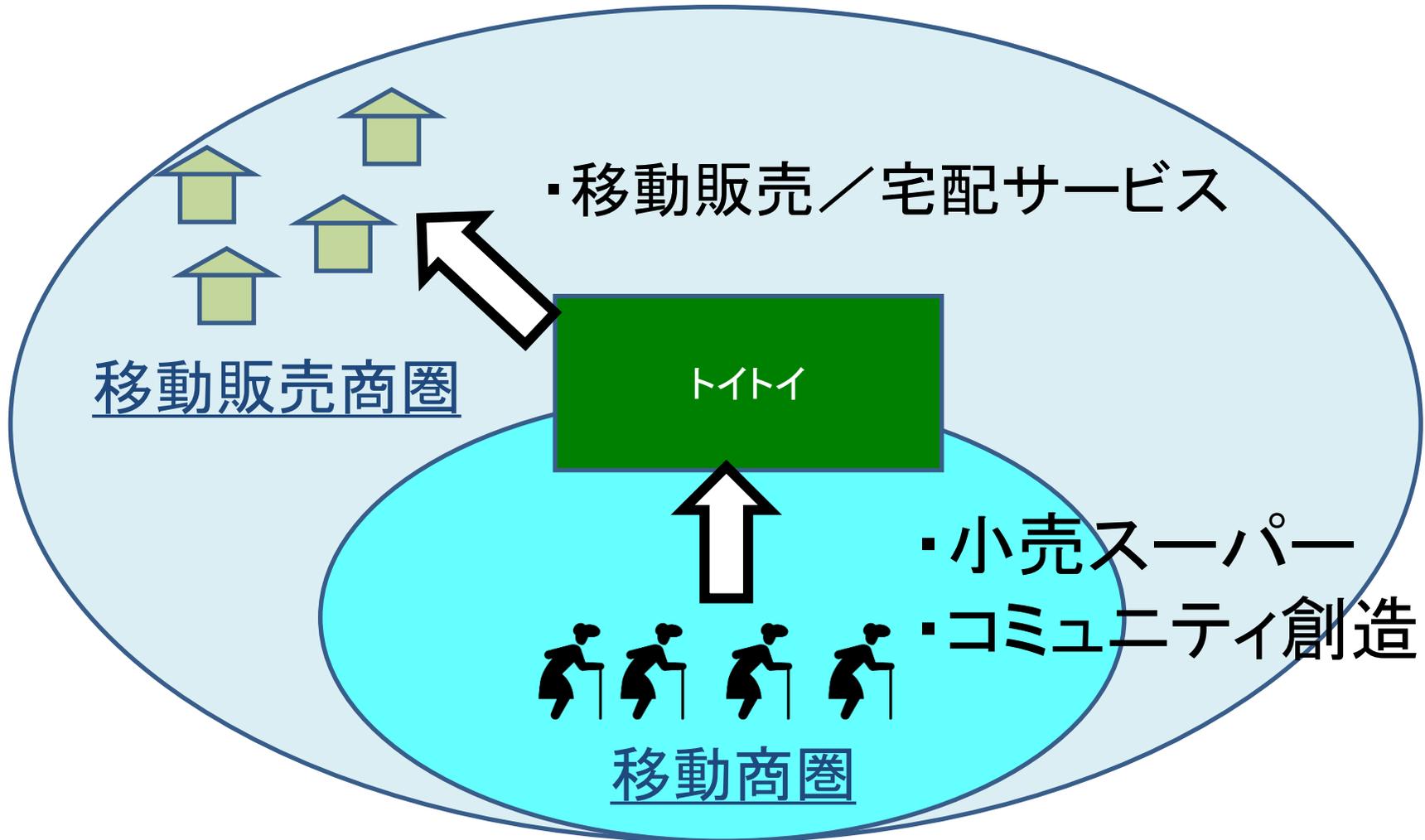
2. 事業概要

(2) 事業のスキーム



2. 事業概要

NPO法人ほほえみの郷トイトイ 従来事業概要



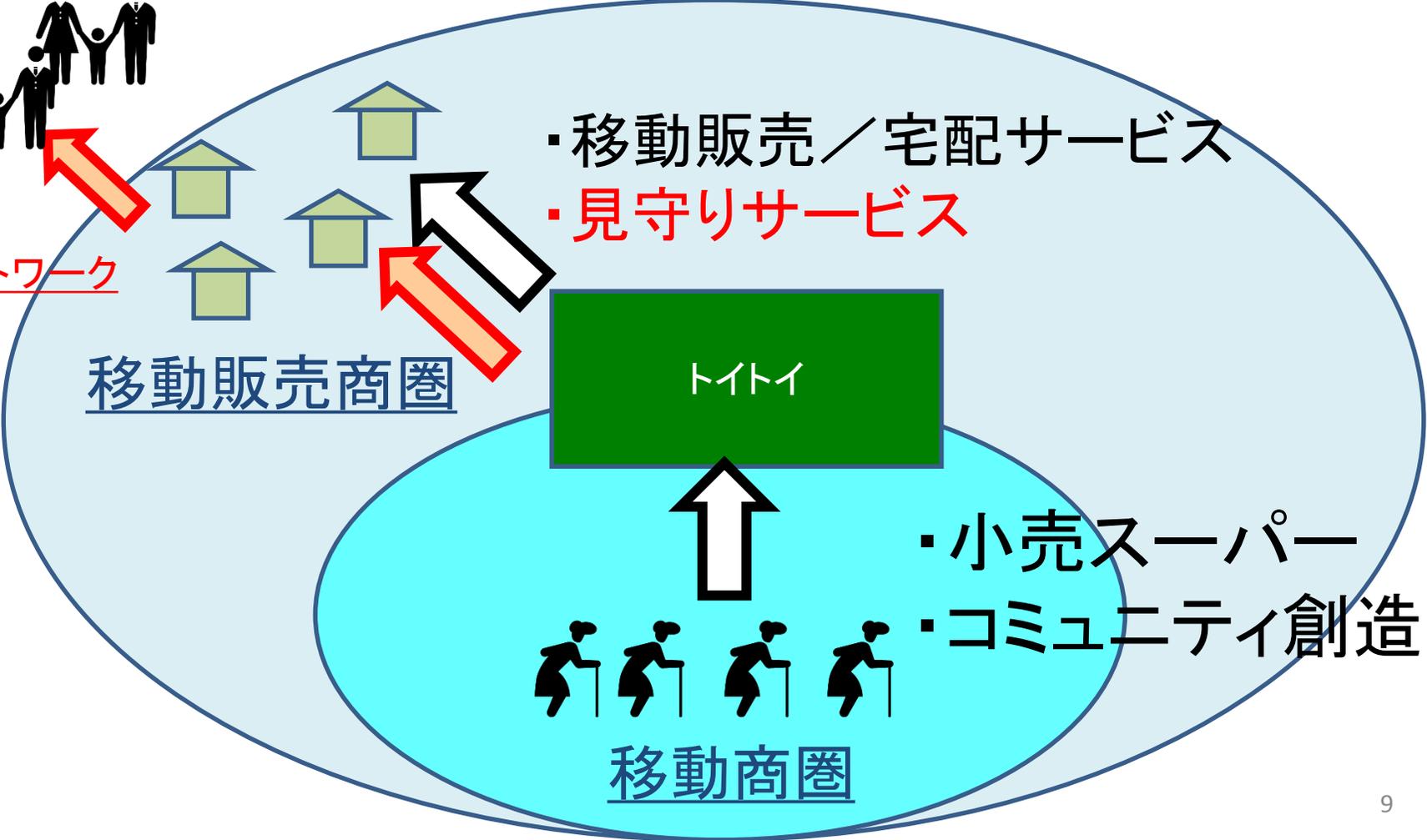
2. 事業概要

NPO法人ほほえみの郷トイトイ 従来事業概要+本事業概要

- ・動画配信
- ・トイトイブランド特産品の提供



ご子息ネットワーク
新たな商圈

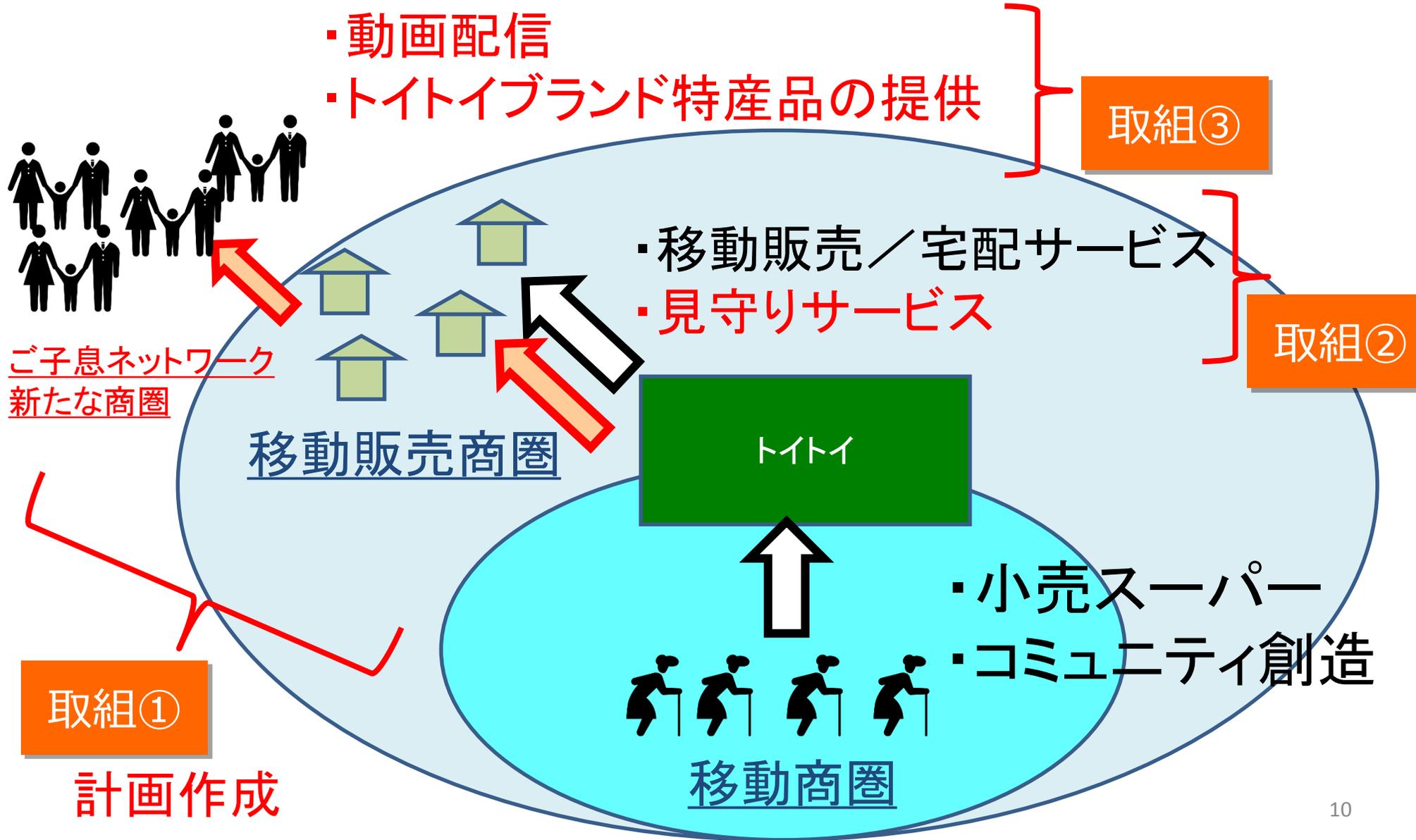


- ・移動販売／宅配サービス
- ・見守りサービス

- ・小売スーパー
- ・コミュニティ創造

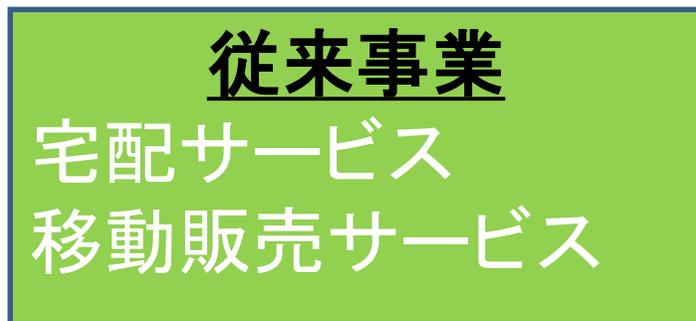
2. 事業概要

NPO法人ほほえみの郷トイトイ 本事業と取組内訳



2. 事業概要

NPO法人ほほえみの郷トイトイ **本事業と多役多業の意味**



+



+



- 事業は追加
- 人員数は従来のまま

3. 各取組の概要

①取組1：事業計画作成 (取組内容)

◎取組の概要

地域の現状把握及び情報共有を行い、担い手の取り組みに新たなサービスを加えることで、地域課題の解決につながる新しいビジネスモデルの構築を実現するための事業計画を作成支援を実施。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
山口市 JA山口中央	住民との連携
商工会 ソーシャルデザイン協会	企画書作成助言

3. 各取組の概要

①取組1：事業計画作成 (取組内容)

- ・担い手の取り組みについて協議会で情報共有と各構成主体からみた地域の現状について整理。
- ・協議会が専門家(中小企業診断士)を派遣し、担い手の現状について分析し地域ビジネスの観点から助言。移動販売事業について多役多業での収益増を検討。
- ・サービス対象となるターゲットを絞り見守りサービスによる多役多業型の地域ビジネス構築と、見守りネットワークを活用した地域活性化プランについて専門家より指導、協議会各構成主体で事業計画実施のノウハウを共有し事業企画書について検討。
- ・協議会において担い手の目指す地域の将来構想と本事業計画をリンクさせることについて協議、事業企画案を修正し事業計画書として作成。

3. 各取組の概要

①取組1：事業計画作成 (成果と課題)

この取り組みでは、担い手が取り組んできた地域づくり活動の中で蓄積された地域ニーズから導き出された地域課題解決の取り組みを、具体化し実現するため協議会が事業計画書の作成を支援した。

事業計画の作成にあたって、担い手の活動理念を協議会の各構成主体が理解し共有することで、担い手の地域づくり活動を具体的に進めるための事業計画の作成について支援を実施した。

取り組みの成果としては、これまで担い手が地域づくり活動に取り組む中で、解決すべき課題に対し、人員及費用面やノウハウの面で取り組みを始めることが困難であった活動に対し、協議会が支援を行うことで実現へのプロセスを事業計画書として作成できたこと、また活動を継続するため地域ビジネスの視点で継続性も視野にいれ取り組めたことがあげられる。

課題としては、地域づくり活動を実践している担い手と各構成主体及び専門家等の間で地域の将来に対する思いの温度差が感じられ、担い手に明確な志があるからこそその理念の共有に時間を要すこととなり、事業進捗が予定よりも遅れたことである。

担い手の思いと作成した事業計画の内容

担い手の思い・課題	事業計画の内容
地域内高齢者の安心 地域外居住家族の安心 移動販売事業の継続(収益化)	新しい見守りサービスの開発(多役多業)
地域課題の抽出、集約のしくみづくり 地域外居住者とふるさとのつながりづくり 地域外居住者からの資金確保	見守りネットワークの構築 新商品開発(真空パック惣菜) 地域外居住家族へ商品の販売等
地域の価値の創造(ふるさとの誇りづくり) 地域住民の笑顔の増加 人口の循環による人口減少対策	取り組みのブランディング 地域の魅力向上の取り組み 地域外居住者の地域づくりへの参画

3. 各取組の概要

①取組2:見守りサービスの実証・運用 (取組内容)

◎取組の概要

新しい見守りサービスについての企画開発とシステム開発を行い、モニター試験運用による実施検証と課題の整理を実施し、地域ビジネスとしての可能性を検証する。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
山口市 JA山口中央	住民への告知
ソーシャルデザイン協会	ワークショップ開催
山口銀行	事業費貸出、会員への告知

3. 各取組の概要

①取組2: 見守りサービスの実証・運用 (取組内容)

担い手の取り組みにより蓄積された地域ニーズと協議会各構成主体の視点からの助言をもとに、IT事業者と連携してシステム設計を行いシステムの構築を実施。

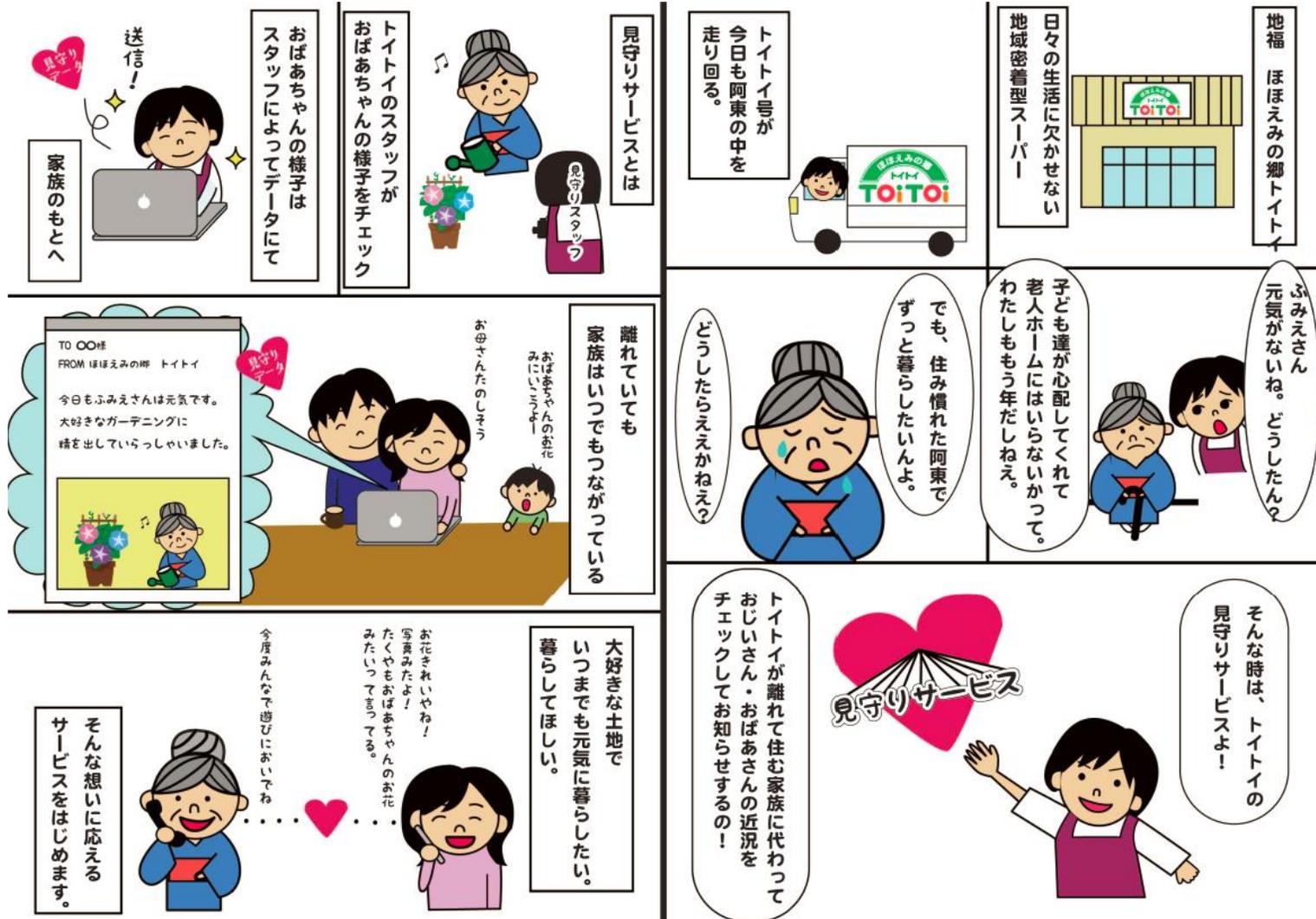
見守りサービスのモニター実施について、募集方法や運用方法など協議会が担い手に対して支援。地域住民への周知としてワークショップを開催。

担い手が実施するモニター試験について、システム事業者と連携し協議会がフォローを行い、課題の抽出とシステム改善を実施。

協議会が専門家(中小企業診断士等)を活用し、サービス価格の設定や運用ルールの構築など多役多業による地域ビジネス構築の面から支援。

見守りサービス実施のコンセプトを明確にすることで、担い手の取り組む地域づくり活動の社会的意義が地域住民に周知されるよう協議会として支援。

安心して暮らし続けられる地域を目指した見守りサービスのイメージ



見守りサービスアンケートの実施

*****見守りサービスに関するアンケート*****

山口市阿東地福地域拠点づくり協議会

【対象者区分】 地福住民 地福住民のご子息
【属性】 性別 女 男
年代 ~49歳 50歳~59歳 60歳~69歳 70歳~79歳 80歳~
居住地域 地福地域 地福以外 ()
生活形態 夫婦 独居

1. 見守りサービスについて

【質問1】 見守りサービスという言葉を知っていますか？
 はい いいえ

【質問2】 見守りサービスがあったら良いと思いますか？
 そう思う 思わない わからない

【質問3】 見守りサービスとしてどのようなサービスがあったら良いと思いますが？
()

【質問4】 見守りサービスが有料の場合、いくらまでなら出せますか？（月額）
 ~1,000円 ~2,000円 ~3,000円 3,001円以上

【質問5】 見守りサービスは必要の都度利用するのが良いですか、それとも固定的に利用するのが良いですか？
 固定的に利用するのが良い 必要の都度利用するのが良い⇒この場合の金額は？
(円くらいが良い)

2. 生活感について

【質問6】 現在、困っていることはありますか？
 ある 特になし

【質問7】 ある場合、それはどのようなことですか？
()

3. その他自由意見欄

アンケート実施実績

- 実施時期
平成27年8月中旬
- サンプル数
地元高齢者：男性9名、女性16名
ご子息：10名 うち県外5名

【自由意見】

<地元高齢者>

- トイトイのお惣菜の品揃え強化
- 庭の草取り、犬の世話散歩、室内模様替え等
- 草刈等いろいろなことをトイトイに連絡すれば取り次いでもらえるようにしてほしい
- 独居老人の安心安全な生活ができる支援
- 営業時間を増やす
- 住んでいる人が一人ぼっちを感じない声掛け運動や絆作りができると良い

<ご子息>

- 通院手段、食事、庭掃除、病気や怪我の際の画像送信などしていただけると良い
- 親が必要な時に気軽に帰れない。地福の情報が入ってこない
- 気軽に地元に戻れない
- 認知症の心配

見守りサービスアンケートの結果

地福住民・ご子息

- 見守りサービスは必要なサービスである
- 費用は、月額2,000円～3,000円程度が妥当である
- 固定的に支援してくれるサービスが良い

希望するサービス内容

- 宅配時のみではなく見守りのみのサービスがあったら良い
- 病気の時の買い物代行、子供との情報交換が映像でできると良い
- 困った時に電話やちょっとした相談ができる
- 安全確認、食材調達、行政との連絡
- 1日1回の声掛けサービス
- 見守り時に少し世間話をしていただけると良い
- 単に親の状況を伝えるだけではなく楽しんでもらえるサービス
- 家族の日常生活支援、必要に応じて利用できるホームヘルプサービス
- 定期的な声掛けと必要に応じての商品配達サービス
- 家族の困りごと相談等

は地福住民高齢男女の意見 はご子息の意見

ワークショップの開催による住民への周知

山 口 新 聞

第三種郵便物認可



地域住民を対象に開かれた新しい高齢者見守りサービスの説明会＝9日、山口市阿東地福

地域住民を対象にした説明会が9日、市阿東地域交流センター地福分館であり、仕組みの概要を説明。地福地区の高齢者と地区外の家族を対象にした有料サービスで、移動販売先で販売員が小型カメラを使ってお年寄りの様子を動画撮影。家族はパソコンやスマートフォンから動画を見ることが出来る。お年寄りの異常を発見した場合は、行政などに連絡する。

将来的には、地福地区と都会に暮らす家族をつなぐ双方のシステムにし、家

山口市阿東地福地区で、地域ぐるみで一人暮らしのお年寄りを見守る新しい仕組みづくりが動き出した。地元NPO法人「ほほえみの郷トイトイ」が運営するスーパリーの移動販売を活用。お年寄りの様子を動画で離れて暮らす家族に伝える。

動画でお年寄り見守り

山口・阿東地福協議会が仕組み説明会

老人クラブで同居高齢者の訪問活動に取り組んでいる河村祥子さん(71)は「わざわざ出掛けなくても元気になっているか分かるのは助かる。今も移動販売の販売員が高齢者の様子を心配してくれているので、

移動販売車を活用するアイデアは良いと思う」と話した。

地福地区を中心に商工会支部やJA、行政に加え、地域おこし協力隊員らが立ち上げたソーシャルデザイン協会などをつくる市阿東地福地域拠点づくり協議会が実施。本年度の国交省の地域づくり活動支援体制整備事業の選定を受けた。

地域住民対象に見守りサービスワークショップを開催

地域住民、老人クラブ、民生委員など参加
開発中の見守りサービスの仕組みについて説明
見守りシステムデモなど実施した。

見守りサービスを活用した地域の安心を守るしくみに
関して参加者の関心は高まった。

新しい見守りサービスのしくみ

ほほえみの郷トイトイ「高齢者見守りサービス」のしくみ

阿東・地福で暮らすお年寄り

元気であることを伝えたいけど…。

あまり頻繁に
電話するのもねえ…。



トイトイ号での
買い物の様子を
スタッフが撮影!



① 撮影

スタッフの帽子に付けた小型カメラで、トイトイ号に買い物に来られた利用者の方を撮影します。

② 送信

撮影した動画をトイトイから離れて暮らすご家族に送信。同時に送信のお知らせメールを送ります。

普段の様子を
動画でお知らせ

スタッフの
小型カメラで
撮影



③ 確認

お知らせメールが届いたら、お好きな時間に、地福で暮らすご家族の様子をご確認いただけます。

離れて暮らすご家族

自由な時間に、動画で様子が見られるから安心!

電話だと分からない
ことも、動画だと様子か
分かりやすい!



パソコンや
スマートフォンで
自由に見られます!

④ サポート・メッセージ代行

気になることがあったり、「電話が繋がらない」といった時など、直接連絡が取れない場合には、メールでトイトイに伝言を送っていただければスタッフが代行してお伝えすることも可能です。また、非常時には行政につなぐ役割も担います。

見守りモニターの実施



見守りモニターの募集

阿東 地福エリアで移動販売「トイトイ号」をご利用の方へ

地福エリアで新スタート！ 「高齢者 見守りサービス」の モニターを募集します！

お申し込みは裏面をご覧ください

「ほほえみの郷トイトイ」が運営する移動販売「トイトイ号」を活用し一人暮らしのお年寄りの様子を、離れて暮らすご家族に動画で伝える新サービスを始めます。

高齢化が進む阿東地福地区。離れて暮らし心配されるご家族と、一人暮らしで不安を抱えるお年寄りをつなぐパイプ役を、地域ぐるみで行いたい。そんな思いから、私たちは立ち上がりました。まずは、そのお試し期間として、モニターを募集します。実際に活用してみたいご意見ご感想を元に、より利用しやすい事業にしていきたいと思っております。みなさまのご参加、ご協力をお待ちしております。

※トイトイ号のエリアである高年地域でも同様のサービスを実施する予定です。

ほほえみの郷トイトイ見守りサービスのしくみ

阿東・地福で暮らすお年寄り 離れて暮らすご家族

元気であることを伝えたいけど… 普通の様子を動画でお知らせ 自由な時間に、動画で様子が見られるから安心！

あんなに頻りに電話するのね… 動画だけでなく分からないことも電話で様子が分かりやすいよ

トイトイ号での買い物の様子をスタッフが撮影！

1 スタッフの様子についたこの小型カメラで、トイトイ号に買い物に来られた利用者の方を撮影します！

2 それをスタッフがパソコンで動画を送信し、ご家族にお知らせメールを送ります。

3 お知らせメールが届いたご家族は好きな時間に、動画でご家族の方の様子を確認。

4 気になることがあったり、「電話が繋がらない」といった時など直接連絡が取れない場合にはメールで伝言を送っていただければスタッフが代行してお伝えすることも可能です。また非常時には行政につなぐ役割も担います。

パソコンやスマートフォンで自由に知られます

この事業は、平成27年度地域づくり活動支援体制整備事業（国土交通省）に選定されたものです。地福地域を対象に、高齢者の見守りサービスを構築運用し、同時にご家族同士のネットワークを構築することで、地福地域をみんなで活性化し、次世代への地域づくりへとつなげていく事業です。

離れて暮らすご家族に、安心のお手伝い

お問い合わせは 特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ（担当：高田）
TEL (083) 952-1800 山口市阿東地福上1886-1 (NPO法人ほほえみの郷トイトイ)
営業時間：9:30～18:00 定休日：日曜日

モニター募集については、当初地域内の高齢者を対象にチラシを配布したが、集約が困難となり地域外居住家族への呼びかけに変更した。

年末年始の帰省時に自治会など通じて、周知を図った。
同窓会のネットワークにより地域内の方を通じて、地域外居住の同級生等へ呼びかけをお願いした。

結果として30名のモニターを確保できた。

トイトイの取り組みを地域外居住の出身者に周知するきっかけとなった。

3. 各取組の概要

①取組2：見守りサービスの実証・運用 (成果と課題)

担い手が取り組む移動販売事業の多役多業化について、協議会が支援することで担い手がこの取り組みに着手できたことが大きな成果である。

担い手が描く地域の将来像と目指すべき活動理念が、協議会を通じて地域内の各構成主体に共有されたことは社会的な意義として考えられる。

見守りサービス企画・システム設計に関しては担い手のこれまでの取り組みにより蓄積された地域ニーズと各構成主体の視点からの意見を集約した形で、IT事業者との連携が図られ、担い手にも運用可能な形でシステムが構築されたことが成果である。

目標値のうち加入者についてはモニター参加者のうち10名程度は加入の意向を示しており年度内には達成の見込みである。

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
サービスモニター	なし	参加者数30名	参加者数30名
見守りサービス	なし	加入者数10名	加入者数4名

3. 各取組の概要

①取組3：見守りサービスを活用したネットワーク構築とブランディング (取組内容)

◎取組の概要

見守りサービス実施による地域拠点と高齢者及び地域外居住家族のネットワークを構築することで、そのネットワークを活用した新商品開発や販路拡大など地域ビジネスを検討する。また、担い手であるほほえみの郷トイトイの活動理念をベースにした新商品開発を行い、地域の取り組みをブランディングすることで新たな価値の創造を目指す。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
ソーシャルデザイン協会	企画、開発実施

3. 各取組の概要

①取組3:見守りサービスを活用したネットワーク構築とブランディング (取組内容)

見守りサービス実施による地域拠点と高齢者及び地域外居住家族のネットワークを構築することで、そのネットワークを活用した新商品開発や販路拡大など地域ビジネスを検討する。また、担い手であるほほえみの郷トイトイの活動理念をベースにした新商品開発を行い、地域の取り組みをブランディングすることで新たな価値の創造を目指す。

担い手が惣菜加工事業者と企画開発した、真空パックの惣菜の試食サンプルを見守りモニターをはじめ地域住民に配布
地域課題解決の取り組みをトイトイブランドとしてブランディングし、新商品の惣菜をトイトイブランドとして作成。

担い手の取り組み

高齢者の食の安心への取り組みとして、週1回の移動販売での惣菜販売需要の高まり。

↓
市内惣菜加工業者との連携により、移動販売事業に置き惣菜取り扱いの導入検討。

置き惣菜メニューにトイトイ工房監修のオリジナル惣菜を新商品として開発。
トイトイブランドの真空パック惣菜として販売予定(無添加、常温保存60日)



新商品 チキンチキンごぼう

試食サンプルを作成し、事業啓発の取り組みとしてモニター参加者や地域住民に配布

ブランドロゴの作成



コンセプト

地福地区のシンボル、2本のもみの木をモチーフに、「安心」「笑顔」「共生」「共有」「協働」などのキーワードを盛り込み図案化したものです。地福ほほえみの郷構想が目指す地域づくりを象徴的に表すマークです。

地域の未来へ向けての取り組みを持続させるための地域ビジネスの創出を目指し、取り組みの中で開発されたサービスや商品にはこのマークを使用し、サービス利用や商品購入を通じて地域活性化に参加するしくみの構築を目指しています。

ブランディングによる商品開発イメージ



地域内の高齢者

常温保存可能・無添加 ⇒ 食の安心

いつでも食べられるトイトイ工房の味 ⇒ 地域とのつながり

惣菜の材料としての野菜づくり ⇒ いきがづくり

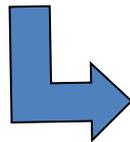
地域外居住の家族

常温保存可能・無添加 ⇒ 地域で暮らす家族の食の安心

いつでも食べられるトイトイ工房の味 ⇒ 地域とのつながり

地域外でふるさとの味を楽しむ ⇒ ふるさとへの思い

チキンチキンごぼう



移動手段を持たない高齢者の孤立化という地域課題を解消するツールとしてだけでなく、あわせて地域外居住の家族がふるさとの取り組みへ関心を高めるためのツールとして開発。売上の一部は、地福の夢プラン実現のために活用される。

3. 各取組の概要

①取組3: 見守りサービスを活用したネットワーク構築とブランディング (成果と課題)

担い手の地域づくり活動のコンセプトである地域課題の解決による地域の満足度向上をブランディングにより、安心のトイトイブランドとして構築することで、新商品開発や販路開拓において収益性の向上はもとより地域の価値を高め地域住民の誇りを醸成するシナリオづくりに取り組むことが出来た。

取り組みの成果として、担い手は活動理念にもとづき今後の地域づくり活動を継続するうえでの明確なコンセプトと地域ニーズを地域ビジネスにつなげるノウハウを学び、協議会は中間支援組織として構成主体がそれぞれ所有する情報やノウハウを生かしながら、担い手の活動を支援するプロセスを蓄積できたことがあげられる。

地域ビジネスという観点で今回の取り組みを検証した場合、単なる新商品開発としての真空パック惣菜の開発ではなく、地域の味を地域外居住者に届けふるさとの食卓を再現するという開発コンセプトや常温で保存可能なうえ添加物を使用しない真空パックの惣菜が地域内の高齢者の食の安全を守り安心を提供するというコンセプトが、地域づくりのストーリーとして商品開発という点で地域ビジネスとしての継続性や収益性につながるものと考えている。今後、トイトイ工房の監修により次の惣菜商品の開発や食材としての野菜づくりなどを検討していくことで、新たな地域ビジネスの可能性も視野に入れることが可能となり、高齢者が参画しやすい地域づくりとしての地域ビジネスの構築につながり高齢者のいきがいづくりという社会的な成果にもつながる可能性を持つことが出来た。

課題としては、見守りサービスを活用したネットワークを構築し地域づくりに活用するため、担い手側のスタッフの運用スキルや情報コンテンツの充実が課題である。
見守りサービスや真空パック惣菜などトイトイブランドとして開発された商品をどのように、ターゲットとなる消費者に周知し利用につなげていくか今後の取り組み方が重要である。

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
トイトイブランドによる 新商品開発	なし	開発数1	開発数1

事業全体の成果・課題

本事業では、地域課題解決に取り組む担い手に対し協議会を構成し支援を実施することで、これまで各構成主体ごとに取り組まれてきた地域活性化のノウハウが協議会という同じテーブルで地域課題解決というテーマのもと、共有し議論されたことが成果である。

これまで地域内では、様々な形で地域づくり活動が取り組まれてきているが、それぞれの実施主体が個別に取り組みを進めることが多く、今回の取り組みでは担い手が地域課題解決のために取り組もうとしていた移動販売事業の多役多業化に対して、地域内の多方面からの視点で協議がなされ買い物支援や高齢者支援という福祉的な側面と、運営継続のための収益性アップというビジネス的な視点をあわせもつプランニングが実現可能となった。

また、協議会を通じて専門家を活用することで担い手の負担も軽減され、地域課題解決型の地域ビジネス構築に取り組めたことに意義のある取り組みであった。

課題としては、協議会において各構成主体間での情報共有と意見集約に時間がかかり、事業進捗が当初より遅れたことがあげられる。

また、ノウハウの蓄積については次年度以降の協議会の体制づくりや運営母体を明確にするなどがクリアするべき課題である。

4. 中間支援における課題と対応

中間支援の特徴として、担い手の活動理念を理解し地域の求める取り組みであることを各構成主体それぞれの立場から検証する必要性を感じている。たとえば、担い手の活動が地域に利益をもたらすよりも担い手の利益のみの追求である場合、支援対象としてふさわしいかを検証するべきである。

行政、金融機関も含め構成された組織であることから、中間支援組織の活動は地域づくりの理念を理解し地域貢献、社会貢献意識の共有が不可欠であると感じている。

行政を除き、それぞれの構成主体は各業務において利益追求の側面を持っており、担い手の取り組みによっては構成主体間の取り組みに対する温度差は大きくなる。そのような場合、連携をするうえで事務局の負担が大きくなることが課題ではないか。体制整備を含め、検討する必要性を感じている。

5. 事業終了後の予定

平成28年度以降の具体的なスケジュール

支援先となる担い手：NPO法人げんき嘉年

支援の目的：太陽光発電による収益を活用した地域活性化に取り組むための体制整備

支援の概要：地域課題の解決に地域主体で取り組むため設立されたNPO法人げんき嘉年の地域づくり活動実施のための体制整備について、また地域課題の解決のための地域ニーズ集約のしくみづくりについて支援予定。

平成28年度以降の継続的な中間支援に向けた取組

継続にあたっての活動費の確保については補助事業や行政からの事業受託による活動費の確保を検討している。

平成29年度以降について

平成28年度の支援先であるNPO法人げんき嘉年に対して、28年度中の体制整備に引き続き、地域ニーズをもとにした地域づくり活動について支援予定。

あわせて協議会の体制整備及び活動費の確保について検討中。